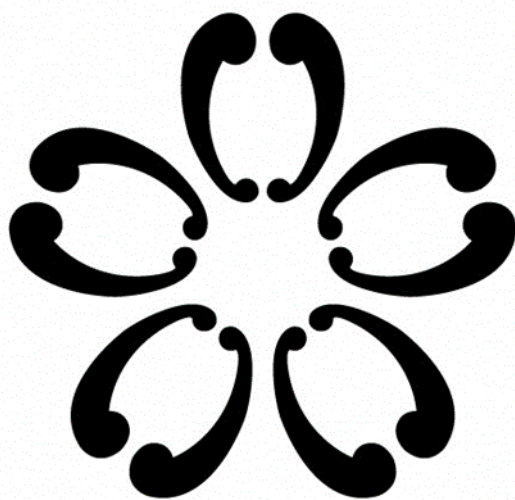


第5次佐倉市総合計画 中期基本計画
策定に当たっての
高校生ワークショップ報告書



令和5年3月

佐倉市

【 はじめに 】

第5次佐倉市総合計画は、令和2年度～13年度の12年間を計画期間としており、その中間である令和6年度～令和9年度を計画期間とする「中期基本計画」の策定を進めています。どのような佐倉市だったら住みたい・住み続けたいと思えるのか、将来の佐倉市を担う若い世代である高校生の皆様と共に考え、今後の計画策定に活かしていくことを目的に、高校生ワークショップを開催しました。

■実施日時

令和5年2月20日（月） 13:30～16:00

■会場

佐倉市役所社会福祉センター 3階中会議室

■高校生によるまちづくりワークショップの内容

参加いただいた佐倉高校、佐倉東高校、佐倉西高校、佐倉南高校の生徒（18名）を4グループに分け、テーマ①「佐倉市の良いところ」「悪いところ」、テーマ②「住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて必要となる取り組み」という2つのテーマに沿って、以下の内容・進行で話し合いを行いました。

テーマ	内 容
	① 開会
	② 担当課職員紹介
	③ ワークショップの趣旨・市の現状、ワークショップの進め方などを説明
	④ 自己紹介、役割分担
テーマ① 「佐倉市の「良いところ」「悪いところ」	⑤ カード記入
	⑥ カード読み上げ、カード並べ（グループ化）、自由討論
テーマ② 「住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて必要となる取り組み」	⑦ カード記入
	⑧ カード読み上げ、カード並べ（グループ化）、自由討論
	⑨ 各グループの取りまとめ作業
	⑩ 発表（1グループ5分×4グループ）
	⑪ まとめ、閉会あいさつ

【ワークショップの手法】

参加いただいた皆様から可能な限りのご意見をいただくため、ワークショップ方式にて行いました。

■ ワークショップの基本的な流れ

① カード記入

与えられたテーマについて、自分の意見、思いをカード（付せん）に記入します。

記述された内容について、現在実現されていないことや、自分だけでは実現できないことについては目印をつけます。



② カード並べ

グループごとに、みんなが書いたカードを模造紙上に並べ、同じような内容のものを集めたり、全体の関係性を話し合ったりしながら、分類・とりまとめ方法を考えます。



③ 成果のとりまとめ

色マジックなどを活用しながら、分類したカード群に見出し（タイトル）をつけたり、補足説明を書いたりし、みんなの意見を模造紙上で整理し、とりまとめ、最後にグループごとに発表します。

【意見要旨】

A 班

医療、福祉、自然、文化財が充実しているという良い点が挙げられたものの、悪い点としては道路環境の悪さ、駅前環境の悪さが挙げられました。また、事前配布資料の「佐倉市総合計画・中期基本計画策定のための高校生ワークショップ手引き」から重要度が高く、満足度が低い「重点改善分野」として「道路環境」が挙げられているのに、土木費の割合が低いことが課題としてとらえ、その具体的取り組みとして土木費の拡充や道路の状態の調査などが必要であるという意見が挙げられました。

カードに記入された意見（要旨） 太字は、同意見が複数見られ、内容を取りまとめたもの

■ 佐倉市の良いところ・悪いところ

1. 良いところ

- | | |
|-------------|-------------|
| ・医療体制や福祉が充実 | ・自然が多い |
| ・歴史がある | ・祭りや花火大会が多い |
| ・災害が少ない | ・交通の便が良い |

2. 悪いところ

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・道路の状態が悪い、歩道が狭い | ・文化財を保護できていない |
| ・駅前の環境が悪い | ・アミューズメント施設が少ない |
| ・土木費が低い | ・学校への助成金が少ない |
| ・市役所が狭い | ・地形的に高低差がある |

■ 住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて必要となる取り組み

課題 1. 道路環境の整備

- | | |
|-----------|--------------|
| ・土木費を拡充する | ・道路の状態調査を増やす |
|-----------|--------------|

課題 2. 駅・駅周辺などの環境

- | | |
|----------------|------------|
| ・駅、駅周辺の環境を整備する | ・看板、標識を増やす |
|----------------|------------|

課題 3. 文化財

- | |
|---------------|
| ・文化財の保護に力を入れる |
|---------------|

課題 4. 佐倉の認知度が低い、コンビニが少ない地域

- | | |
|----------------------|------------------|
| ・SNS を活用、観光客による特産物発信 | ・佐倉市特産物フェアの開催 |
| ・佐倉の給食が食べられる飲食店 | ・和田や弥富でのコンビニを増やす |



B班

自然が多い、著名人が多い、治安が良い点などが良い点が挙げられたものの、悪い点としては若者が遊べる場所が少ない、道が整備されておらず交通事故が多い、車通りが多い、駅の場所によっては駅前に何も無いことなどが挙げられました。

住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて必要となる取り組みとしては、道路整備やバス本数の拡充をはじめ、学生や市民のボランティア活動の活性化が挙げられました。行政だけでなく、地域全体での自然保護活動やイベントを通じ、地域の方が気軽にに関わりあう街づくりをすべきという声が多かったです。また、著名人を活用した SNS や、駅前でのイベントなどを通して佐倉の良いところをもっと発信していくことが挙げられました。

カードに記入された意見（要旨） 太字は、同意見が複数見られ、内容を取りまとめたもの

■ 佐倉市の良いところ・悪いところ

1. 良いところ

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・公園が多い ・交通の便が良い ・医療機関が充実している ・駅のまわりにお店が多い | <ul style="list-style-type: none"> ・自然が多い ・治安が良い ・著名人が多い ・大型のショッピングモールが多い |
|--|---|

2.悪いところ

- ・若者が遊べる場所が少ない
- ・坂が多い
- ・ボランティア活動が少ない
- ・交通事故が多い
- ・道の整備がされていない
- ・バスの本数が少ない
- ・活気がない
- ・高校から先の進学先がない

■ 住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて必要となる取り組み

課題1.自然を活かす

- ・自然を大切にする
- ・今の静かさを活かす

課題2.交通面

- ・バスの数を増やす
- ・歩道を広げる

課題3.活気がない

- ・ボランティア活動を充実させる
- ・駅周辺の活性化
- ・SNS等で市の魅力を発信する
- ・地域の集まりを大切にする
- ・駅前でのイベントを増やす
- ・大学をたてる



C班

公園が多い、家が多い、静か、行事が豊かという良い点が挙げられたものの、悪い点としてはスーパーの数が少ない、若者が集まりにくい、活気がない、交通が不便といった点が挙げられました。

住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて必要となる取り組みとしては、街の整理のために買い物しやすいスーパーを置く、市民から危険なところを聞いて整備をして安全にしてい、公園ひとつひとつにごみ箱を設置することなどが挙げられました。また、海外の人が安心して住めるようにユニバーサルデザインを取り入れることが挙げられました。その他、「良いところ・悪いところ」が表裏一体であること、地域や地区によって差が激しいこともあるが、これらを逆にとり、こうした差を埋めて補完していくことも必要といった意見も出されました。

カードに記入された意見（要旨） 太字は、同意見が複数見られ、内容を取りまとめたもの

■ 佐倉市の良いところ・悪いところ

1. 良いところ

- | | |
|------------|-----------------------------|
| ・公園や自然が多い | ・災害対策がしっかりしている |
| ・歴史が深い | ・家が多い |
| ・静か | ・地域コミュニティが充実 |
| ・バリアフリーが充実 | ・JR線と京成線があり色々な所に行きやすい、空港が近い |

2. 悪いところ

- | | |
|-----------------------|-----------|
| ・活気がなく、若者が集まりにくい | ・道がガタガタ |
| ・坂道が多い | ・ごみ箱が少ない |
| ・JRと京成の間、都内や県内への交通が不便 | ・スーパーが少ない |

■ 住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて必要となる取り組み

課題1. 町の整備、海外の人にも住みやすい町づくり

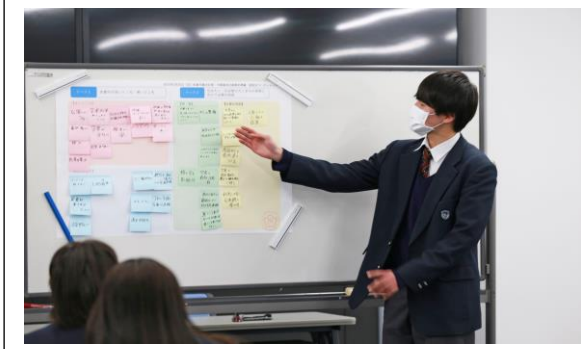
- | | |
|---------------------------------------|----------------------------|
| ・高齢の方でも買い物に行きやすいスーパーなどをおく | |
| ・市民から危険なところを聞いて整備をして安全にする | ・緑を守る取り組み |
| ・公園ひとつひとつにごみ箱を設置 | ・空屋の有効活用、歴史資料の展示や観光場所として使う |
| ・ユニバーサルデザインを取り入れ、日本語が分からない人にも住みやすくする。 | |

課題2. 市内の地区ごとのPR量の差（活気がない）

- ・商店街や表参道をつくる

課題3. 県内（遠方）に最短ルートで行ける交通網

- ・利用しやすい交通網を増やす



D 班

大きく分けて佐倉の良い点として「自然」、悪い点として「治安」、「交通」に分類されました。住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて必要となる取り組みとしては、良い点の「自然」に関しては歴史を活かしたイベントを作る、花壇清掃を行うなどの意見が出ました。悪い点の「治安」に関しては地域のパトロールを増やす、「交通」についてはバスの本数を増やす、道路の補修や歩道を作るといった取り組みが挙がりました。

カードに記入された意見（要旨） 太字は、同意見が複数見られ、内容を取りまとめたもの

■ 佐倉市の良いところ・悪いところ

1. 良いところ

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・歴史がある ・大型ショッピングモールやコンビニが多く、利用しやすい | <ul style="list-style-type: none"> ・人が優しい ・医療機関が充実している ・空港が近い |
|--|---|

2. 悪いところ

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・治安が悪い ・道路が狭くて危険、交通量も多い ・自転車がないと不便 ・坂が多い ・JR も京成も駅前が閑散としている | <ul style="list-style-type: none"> ・バイクがうるさい ・バスの本数が少ない ・市南部のインフラが悪い ・弥富は畑や田んぼが多く、人口が少ない ・市にコレといったものがない |
|--|---|

■ 住みたい・住み続けたいまちの実現に向けて必要となる取り組み

課題1.活気がない

- ・歴史を活かしたイベントを作る
- ・花壇を清掃、自然をきれいに保つ
- ・アミューズメントパークが欲しい
- ・お店を増やす

課題2.治安が悪い

- ・地域パトロールを増やす
- ・若者にも目を向けてほしい

課題3.交通が不便、立地が悪い

- ・バスの本数を増やす
- ・道路の舗装や歩道を作る



■ 集合写真



【 総括 】

今回の高校生ワークショップでは、将来の佐倉市を担う若い世代である市内高校の生徒 18 名の皆さんに、「佐倉市の良いところ・悪いところ」、「住みたい・住み続けたいと思うまち」はどんなまちなのか、また、そうしたまちを実現するためには、どんな取り組みが必要となるのかについて話し合い、整理をしていただきました。

佐倉市の「良いところ」としては、自然が豊か、医療機関や福祉が充実している、災害対策が充実しているなどの意見のほか、学校が多い、交通の便が良い、大型ショッピングモールやコンビニが多いなど、高校生らしい意見がありました。また、「悪いところ」としては、若者が遊べる場所が少ない、アミューズメント施設が少ない、活気がない、都内や県内への交通が不便などの意見のほか、学校の助成金が少ない、高等学校卒業後の進学先がないなど、卒業後の進学を見据えた課題や利便性の高い都市を求める傾向の意見がありました。

また、「住みたい・住み続けたいまち」の実現に向けた課題への対応策としては、住環境の強化し居住性や便利さを向上させるだけでなく、地域の集まりを大切にするなど、地域とのつながりも重要との意見や、佐倉の認知度向上させることで地域の活性化を図ることが重要といった意見が挙げられました。

これらの高校生の皆さまから寄せられた「良いところ・悪いところ」や、課題への対応策等のご意見について、今後、佐倉市総合計画策定本部会や、佐倉市総合計画審議会等で検討し、第 5 次佐倉市総合計画中期基本計画においてご意見を反映できるよう、進めてまいります。

なお、テーマごとに意見内容をまとめたものは、次頁のとおりです。

テーマ	佐倉市の「良いところ」「悪いところ」		課題への対応策
	良いところ	悪いところ	
子育て 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校への助成金が少ない ・文化財を保護できていない ・高等学校卒業後の進学先がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護に力を入れる ・佐倉の給食が食べられる飲食店を設ける ・進学先を増やす
福祉 健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が充実している ・福祉が充実している 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方が買い物不便 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の買い物利便性向上
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い ・歴史がある ・災害が少ない、災害対策が充実している ・治安が良い ・静かな住環境 ・公園が多い ・空港に近い ・バリアフリーが充実している ・地域コミュニティが充実している ・人が優しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道が狭い ・道路の状態が悪い ・治安が悪い、バイクがうるさい、駅前の環境が悪い ・坂が多い ・バスの本数が少ない ・JRと京成の間の交通や、都内や県内への交通が不便 ・自転車がないと不便 ・ボランティア活動が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の静かな住環境を活かす ・道路の危険箇所を市民が通報できる仕組みをつくる ・土木費を拡充 ・バスの数を増やす ・ユニバーサルデザインの導入（外国人が住みよいまち） ・空き家を歴史資料の展示や観光場所に有効活用する。 ・地域パトロールを増やす ・挨拶を増やす ・駅や駅周辺の環境を整備する ・看板や標識を増やす ・ボランティア活動を充実させる ・地域の集まりを大切にする
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・空気が美味しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ箱が少ない ・隣町と比べて暑し寒い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を維持していく ・建物を増やしすぎない ・花壇の清掃 ・公園にゴミ箱を設置
農業 商工業	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りや花火大会が多い ・駅のまわりにお店が多い ・大型のショッピングモールやコンビニが多い ・著名人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が遊べる場所が少ない ・活気がない ・スーパーやコンビニが少ない ・地区がある ・アミューズメント施設が少ない ・駅前が閑散としている 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した佐倉の認知度の向上 ・佐倉市特産物フェアの開催 ・観光客による佐倉市情報の発信 ・駅前でのイベントを増やす ・歴史を活かしたイベントを行う ・アミューズメントパークの誘致 ・お店を増やす ・若者にも目を向けてもらう取り組み（SNS等）